



## パソコンのバッテリーを 上手に使い長持ちさせよう

### ■ バッテリーの種類で長持ちさせる使い方のコツが違う

ノート PC のバッテリーには、「リチウムイオンバッテリー」と「ニッケル水素バッテリー」があり、PC のバッテリーパックに貼られているラベルに表示されています。

それぞれの特性にあわせた使い方をする事で、バッテリーの劣化を遅らせることができます。



### ■ リチウムイオンバッテリーは 80%充電を心がけることが大切です。

(100V 電源につなぎっぱなしは最も悪い使い方と言われています。でもほとんどの人はコレです！)

### ■ ニッケル水素バッテリーはできるだけ使いきる

- 一ヶ月に一度以上の頻度で、バッテリーを充電 100%から 0%近くに放電するまで連続して使用(または電源 ON の状態で放電)しましょう

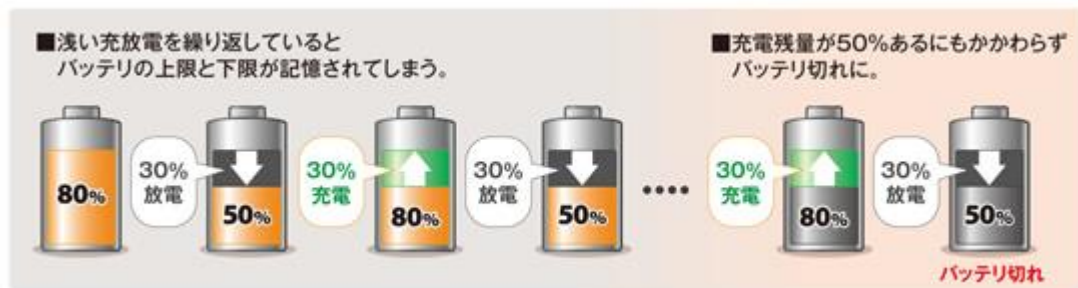


■ 短時間の充放電を繰り返す使用はやめましょう

■ 例えば、80%まで充電して 50%まで使用するという、結果的に充電回数

が多くなってしまいう使用方法を繰り返すとバッテリーの劣化を早めてしまいます。また、例えば 80%→50%まで使用した後に、80%まで充電してまた 80%→50%まで使用するという使用方法を繰り返した場合、実際にはまだ 50%の充電残量があるにもかかわらず、バッテリー切れになってしまうという状態になる場合があります。

この現象は、充放電する範囲を充放電の上限と下限として記憶してしまうような現象であることから「メモリ効果」と呼ばれており、メモリ効果の発生したバッテリーは元の状態に復旧しません。



- バッテリーを外した状態で AC 電源のみで使用しない  
外したバッテリーは自然放電しますので、うっかり長期間パソコン本体から取り外したままにした場合、過放電になり故障の原因にもなります。
- すぐにバッテリーがなくなる場合は？  
バッテリーの寿命（交換時期）の可能性ががあります
- 一般的にノートパソコンでは、充放電回数 500 回、バッテリー容量半減をもってバッテリー寿命の定義としています。したがって、バッテリーの駆動時間がカタログに記載の時間の半分以下になった場合は、寿命に達しているものと考えられます。



- バッテリーの寿命は使用環境、温度等によっても異なりますが、AC アダプタと併用し一般的な運用を行った場合には、約 2 年～3 年で初期容量の 50%になります。



※一般的な運用の定義：温度=25℃（室内の温度）  
充電・放電=ACアダプタを併用し、週に5～6回充電を行なう

- バッテリーを購入するには、バッテリーの型番を確認する必要があります。メーカー発行のマニュアルやカタログでバッテリーの型番を調べてください。  
ネットで調べると1セット2万程度は必要です。
- バッテリーの充電状況を確認するには？（ノートパソコンの場合）  
ディスプレイの右下の通知領域に電池のアイコンにマウスポイントを乗せると充電状態のメッセージが出ます。 出ない場合は△をクリックし

左図のようなメニューから設定して下さい。  
通常はエコノミーを選びましょう。

